



平成29年度 福祉フォーラム 開催要項

相模原・津久井やまゆり園事件

日時 平成29年
4月15日(土)
13:00 ~ 17:30

施設事業者 ・従事者に 問われていること

会
受
定
参
講

講 対 象 場 京都テルサ セミナー室
障がい福祉事業関係者・当事者・保護者・関心のある方

加 費 料
無 料

師 野沢 和弘 氏(毎日新聞論説委員)、松上 利男 氏(大阪知的障害者福祉協会会長)、
婦木 治 氏(社会福祉法人みつみ福祉会理事長)藤木 充 氏(社会福祉法人しが夢翔会統括施設長)、
中西 昌哉 氏(日本知的障害者福祉協会人権・倫理委員長)、樋口 幸雄 氏(進行：京都知的障害者福祉施設協議会会長)

平成28年7月26日未明、神奈川県相模原市にある障害者支援施設「津久井やまゆり園」でおきた大変痛ましい事件。卑劣かつ残忍極まる犯行を断じて許すわけにはいきません。改めて、犠牲になられ命を奪われた方々のご冥福と負傷された皆様方の一日も早いご回復を心からお祈り申し上げます。特に、加害者が元職員であったこと、安全であるべき施設事業所内において、こうした凶行を防げなかったことは、障がい者支援を担う事業者・従事者として心からお詫び申し上げなければなりません。また、事件に遭遇された皆様の深い心の傷は計り知れず、私たち関係者はその重荷の一端でも担えるよう行動していかなければならないと思います。今回の事件、様々なマスメディアによって加害者の特異な人物像が強調されていますが、はたしてそうなのか。少なくとも施設事業者・従事者は、今回の事件を特異なものとして受け止めるのではなく、後を絶たない施設事業所内における虐待問題と同じ構造として捉えるべきではないかと思えます。虐待がおきる背景にある施設環境、従事者の処遇や育成、専門性、施設の運営理念という視点から深く検証されなければなりません。今回のフォーラムでは、これまで明らかになった事件の経緯から、施設事業者・従事者に今何が問われているのかを考えます。

京都知的障害者福祉施設協議会
会長 樋口 幸雄

- 13:00 受付開始
13:20 開 会
13:30 講演「相模原・津久井やまゆり園事件の検証
野沢和弘氏(毎日新聞論説委員)」
15:00 休 憩
15:15 シンポジウム「今、施設事業者・従事者に問われていること」
発言者 松上 利男氏(大阪知的障害者福祉協会会長)
発言者 婦木 治氏(社会福祉法人みつみ福祉会理事長)
発言者 藤木 充氏(社会福祉法人しが夢翔会統括施設長)
発言者 中西 昌哉氏(日本知的障害者福祉協会人権・倫理委員長)
コメンテーター 野沢 和弘氏(毎日新聞論説委員)
進行・発言者 樋口 幸雄氏(京都知的障害者福祉施設協議会会長)
17:00 <会場からの質疑>
17:30 閉 会

講師プロフィール

野沢 和弘 氏

1959年静岡県生まれ。1983年毎日新聞社入社。薬害エイズ、児童虐待、障害者虐待等の取材を担当。2009年4月から現職。社会保障審議会障害者部会委員、内閣府障害者政策委員会委員。主な著書に「あの夜、君が泣いたわけ」(中央法規)、「条例のある街」(ぶどう社)、など

日
程

主
共
後

催 京都知的障害者福祉施設協議会・京都知的障害児者生活サポート協会
催 近畿地区知的障害者福祉協会
援 京都府・京都市・京都障害児者親の会協議会・京都手をつなぐ育成会・京都府自閉症協会

参加申込及び問合せ先



《申込先》 京都知的障害者福祉施設協議会 事務局
FAX 075-366-6628
メール kyoto-tifuku@cream.plala.or.jp

参加申込書に必要事項を記入の上、平成29年4月5日(水)までに、FAXまたはメールにて京都知的障害者福祉施設協議会事務局宛お申し込みください。

相模原・津久井やまゆり園事件 施設事業者・従事者に問われていること

参加申込書

事業所名等	(ご家族等の場合は未記入)		
参加者	役職等	氏 名	障がいのある方との関係

締め切り：平成29年4月5日(水)

【ご質問・ご意見などをお寄せください】

京都知的障害者福祉施設協議会

〒602-8143 京都市上京区猪熊通丸太町下ル中之町 519 京都社会福祉会館内
TEL：075-366-6699 FAX：075-366-6628
E-mail：kyoto-tifuku@cream.plala.or.jp <http://kyotifuku.jp>